

内蔵型HDD「iVDR-S Built-in」<sup>(\*)</sup>を内蔵し、さらに「iVポケット」を搭載した  
60V型フルハイビジョンパネル採用  
地上・BS・110度CSデジタルハイビジョンプラズマテレビ「<sup>ウー</sup>Woo」を発売



P60-XR01



「iVポケット」と「iVDR-S（別売）」

株式会社日立製作所コンシューマ事業グループ(グループ長&CEO:江幡誠/以下、日立)は、250GBのHDD「iVDR-S Built-in」<sup>(\*)</sup>を内蔵し、内蔵HDDの容量が不足した場合でも別売の着脱式「iVDR-S」で録画容量を増やすことができる「iVポケット」を搭載した、60V型フルハイビジョンパネル採用デジタルハイビジョンプラズマテレビ「<sup>ウー</sup>Woo」P60-XR01を11月15日から発売します。

P60-XR01は、水平1,920×垂直1,080画素の「フルHD ALISパネル」<sup>(\*)</sup>を搭載した60V型地上・BS・110度CSデジタルハイビジョンプラズマテレビです。「iVポケット」を本体前面に搭載し、内蔵している250GBのHDD「iVDR-S Built-in」の容量が不足した場合でも、別売の着脱可能なHDD「iVDR-S」を利用することで、デジタルハイビジョン放送をそのままの画質で録画出来ます。また、24コマ/秒で製作された映画フィルムの映像を、日立独自の動き補間アルゴリズムにより、コマとコマとの間の映像を作り出して60コマ/秒に変換する「なめらかシネマ」機能を搭載し、自然な動きを再現します。

さらに、フルハイビジョン対応の高画質画像処理エンジン「Picture Master Full HD」を搭載し、フルハイビジョンパネルの特性を活かした高画質映像を再現するとともに、高いコントラストを実現する「ファインブラックフィルター」の採用により、フルハイビジョンに相応しい引き締まった黒を表現します。

■型式、価格および発売日

地上・BS・110度CSデジタルハイビジョンプラズマテレビ

方式	画面サイズ	表示画素数 (水平×垂直)	型式	発売日	本体希望小売価格	当初月産台数
プラズマ	60V型	1920×1080	P60-XR01	11月15日	オープン価格	1,000台/月

## ■開発背景と意図

日立は、2003年10月にハイビジョンHDDレコーダーを搭載したプラズマテレビを発売して以来、「録画ができるテレビ」の使いやすさの進化を追求し、お客様から幅広い支持を得ています。今年春には、世界で初めて「iVDR-S Built-in」を内蔵し、さらに着脱可能なHDD「iVDR-S」(別売)に対応した「iVポケット」を搭載した「Wooo 01シリーズ」を発売し、これまでの録画機能に「増やせる」「移せる」機能を加えることで、「録画ができるテレビ」をさらに進化させ、テレビの楽しみ方を広げてきました。

今回60V型フルハイビジョンモデルを追加することで、高精細、高画質を大画面でお楽しみ頂くとともに、録画の利便性により、新しいテレビの視聴スタイルを提案するものです。なお、「iVポケット」搭載モデルのラインアップは全8機種となります。

※  は3つの「Wo～」を意味しています。

(Wonder—驚きがある。World standard—世界の新しい基準である。Worthwhile—高い価値がある。)

\*1:「iVDR」は、「iVDR 技術規格」に準拠することを表す商標です。(Information Versatile Disk for Removable usage)

「iVDR-S」は著作権保護方式である「SAFIA」を搭載したiVDR-Secureのことです。

「iVDR-S Built-in」は、著作権保護方式である「SAFIA」を搭載した内蔵型のiVDR-Secureのことです。

デジタル放送の録画には、著作権保護方式である「SAFIA」を搭載したHDD「iVDR-S」が必要です。

\*2: 富士通日立プラズマディスプレイ株式会社 (代表取締役社長: 黒田重雄) 製

## ■製品紹介ホームページ 「日立 Wooo ワールドホームページ」

URL : <http://av.hitachi.co.jp/>

## ■お客様からのお問い合わせ先およびカタログ請求先

お客様相談センター

電話 : 0120-3121-11 (フリーコール)

時間 : 9:00～17:30 (月～土)、9:00～17:00 (日・祝日) 【年末年始をのぞく】

## ＜新製品の主な特長＞

■ 250GB の HDD「iVDR-S Built-in」(\*1)を内蔵し、さらに着脱可能な HDD「iVDR-S」(\*1)に対応した「iV ポケット」搭載

1. 著作権保護技術「SAFIA」(\*2)に対応し、録画容量の増量やハイビジョン番組の高速ムーブ（移動）が可能

著作権保護技術「SAFIA」に対応した 250GB の HDD「iVDR-S Built-in」(3.5 型 HDD、日立グローバルストレージテクノロジーズ社製)を内蔵し、著作権保護と使いやすさに配慮しました。さらに別売の着脱可能な HDD「iVDR-S」に対応したスロット「iV ポケット」を、テレビ本体前面に搭載することで録画容量を増やすことができるので、内蔵 HDD の残量を気にする必要がありません。

内蔵 HDD に録画した番組は、ハイビジョン画質のまま別売の「iVDR-S」との間で最大約 9 倍速(\*3)の高速でのムーブ（移動）が可能です。さらに別売の「iVDR-S」に直接ハイビジョン放送を録画(\*4)することも出来ます。また、テレビ本体から「iVDR-S」を取り外しても、どの「iVDR-S」に何が録画されているかを確認できる「ライブラリ機能」も搭載しています。また、家族一人一人が自分だけのディスクを持ったり、「映画」や「スポーツ」などのジャンルに分けて番組を録画するなど、「録画ができるテレビ」の楽しみ方が広がります。

\*1：P.2 \*1 参照

\*2：SAFIA ライセンスグループが提供するデジタルテレビやデジタルオーディオ等への著作権保護技術。(Security Architecture For Intelligent Attachment device)

\*3：TSE モード(11Mbps)録画時・レート変換なしの場合 \*4：コピー禁止の番組はのぞく。

2. ハイビジョン画質で約 2 倍の録画時間を実現する「XCodeHD」採用

HD トランスコード/トランスレート技術「XCodeHD」(\*5)を採用した TSE モードを搭載し、デジタルハイビジョン放送を無変換で録画する TS モードと比較し、内蔵 HDD の約 2 倍となる 500GB 相当(約 50 時間)(\*6)の長時間録画を実現します。

\*5：カナダ(トロント)に本社を置く ViXS Systems Inc. の HD トランスコード/トランスレートテクノロジー

\*6：TSE モードで BS デジタル放送を録画時、HDD 容量に換算した場合。番組により録画時間は短くなる場合があります。

3. 余計な接続不要で、ボタンひとつですぐに録画可能

録画機能を内蔵しているので、外部レコーダーとのケーブル接続の手間や外部入力への切り替えなど面倒な操作なしに、リモコンのボタン 1 つで録画できます。さらに、録画済み番組のサムネイル画面から気に入ったドラマなどを毎週予約できる「かんたん毎週予約」が可能です。

4. ダブルデジタルチューナー搭載

地上・BS・110 度 CS デジタルチューナーを 2 系統搭載しているので、見たい番組が重なったときに、ハイビジョン番組を視聴しながら、裏番組をハイビジョン画質で録画できます。

## ■ 高画質技術

1. 水平 1,920×垂直 1,080 画素の 60V 型「フル HD ALIS パネル」搭載

「P60-XR01」は、「e-ALIS」方式(\*7)で水平 1,920×垂直 1,080 画素の 60V 型「フル HD ALIS パネル」を搭載しています。60V 型の大幅な画面で細部まで美しく表現するために、パネル輝度

1,000cd/m<sup>2</sup>（パネル単体・ピーク輝度）、コントラスト比を 10,000:1（暗所、パネル単体）を実現しました。さらに、広い色再現範囲を実現する「新ダイナミック MBP カラーフィルター」に加え、明るい照明下でも引き締まった黒を表現する「ファインブラックフィルター」を採用し、あらゆる設置場所でプラズマテレビの特長であるメリハリのある画質を存分に楽しめます。

\*7：e-ALIS 方式とは、「extended-ALIS」方式の略

## 2. 映画フィルムの映像を自然に再現する「なめらかシネマ」機能搭載

24コマ/秒で製作された映画フィルムの映像は、60コマ/秒のテレビ信号に変換する場合に同じコマを繰り返して作成するため、そのままでは動きが不自然に見えるシーンがあります。「なめらかシネマ」機能は、24コマ/秒の映画フィルムの映像を、日立独自の動き補間アルゴリズムにより、コマとコマとの間の映像を作り出し、60コマ/秒の映像に変換することで、従来表現できなかった自然な動きを再現します。

## 3. 早い動きもくっきり、優れた動画解像度

動画解像度は、動画像において人の目で識別できる表示の細かさを定量的に表すために提唱された測定方法です(\*8)。自発光で動画解像度に優れた「フル HD ALIS パネル」採用により、900 本以上の高い動画解像度を実現し、スポーツ等の動きの速い映像をくっきりと映し出します。

\*8：次世代 PDP 開発センター（APDC）測定方式

## 4. フルハイビジョンや 1080P 信号に対応した画像処理エンジン「Picture Master Full HD」を搭載

日立独自の高画質画像処理エンジンをさらに向上させた「Picture Master Full HD」を採用し、映像の解析・処理を高速化、高精細化することで、さらなる高画質化を実現しました。

### ・「アドバンスドダイナミックコントラスト」

映像シーンごとにヒストグラムを使った高度な画像認識処理を行い、特徴を細かく分析し、シーンごとに最適な制御を行うことで、コントラスト感あふれる階調表現を実現します。

### ・「3次元デジタルカラーマネージメント」

複数の指定色の色合い・色の濃さ・明るさを同時に調整し、パネルの性能を最大限に引き出す色彩コントロールにより、繊細な質感を美しく表現します。

### ・「ツインダイナミックエンハンサ」

映像シーンに応じて鮮鋭度をコントロールし、奥行き感やキレのある映像を表現します。

## ■ 高音質技術

### 1. 高音質を実現するスピーカーシステム

音声のパワーアンプ部に、出力13.5W+13.5Wのデジタルアンプを採用し、音の濁りや歪みの少ないデジタルサウンドを再生します。また、本体左右に配置するスピーカーは着脱可能なセパレートスピーカーシステムを採用し、別売の専用スピーカースタンドで自立させ、本体から離して設置することも可能です。

## 2. デジタル放送の番組情報に連動し、音場を自動的に切り換える「自動音声モード(\*9)」

デジタル放送の番組情報として送られてくるジャンル情報(スポーツ・音楽・映画など)に連動して、スピーカーから再生する周波数特性やサラウンド効果(SRS WOW (\*10)(立体音響効果 + 低音再生)・BBE(\*10)(明瞭度改善))を調整し、番組ジャンルにふさわしい音場を演出し、60V型のフルハイビジョン画面に相応しい音声で臨場感をさらに盛り上げます。

\*9：メニュー画面の各種設定、音声モードで「オート」選択時に有効

\*10：SRS WOWはSRS Labs, Inc.の商標。BBEはBBE Sound, Inc.の商標です。

### ■ 使いやすさの向上

#### 1. 「裏番組チェック」で、チャンネルを変えずに裏番組を確認可能

裏番組の電子番組表(EPG)の番組情報と子画面を、画面の下部に表示し、視聴中の番組を邪魔せず裏番組の内容が確認できます。

#### 2. 「かんたんセットアップ」で、画面を見ながら簡単に初期設定

購入後初めて電源を入れると「かんたんセットアップ」画面が表示されますので、ガイドに従い操作をするだけで、デジタル放送の視聴に必要な設定が簡単にできます。

#### 3. 1080Pに対応した3系統のHDMI端子を装備

#### 4. デジタル放送もすばやく起動する「クイックオン」

### ■ 省エネ&エコロジー対応、環境負荷の低減と省エネ設計

#### 1. 省エネ設計

テレビの切り忘れなどに対応し、「無信号電源オフ」「無操作電源オフ」「ビデオパワーセーブ」の省エネ機能を搭載しています。

#### 2. JIS規格「J-Moss(\*11)」のグリーンマークに対応

電気・電子機器に含まれる特定化学物質の含有表示について、日本工業規格(JIS)に制定された「J-Moss」に対応し、規制対象物質である「鉛・水銀・カドミウム・六価クロム・PBB(ポリブロモビフェニル)・PBDE(ポリブロモジフェニルエーテル)」の6物質の非含有(\*12)をあらわす「グリーンマーク」表示製品であり、環境負荷の低減を図っています。

\*11：J-Moss：電気・電子機器の特定の化学物質の含有表示方法

(The marking for presence of the specific chemical substances for electrical and electronic equipment)

\*12：JIS C 0950に規定する除外項目をのぞく。

### ■ 専用スタンド

機種名	型式	希望小売価格(税込)	発売時期
固定スタンド	TP-6001FST(別売)	42,000円	11月15日

### ■ 専用スピーカースタンド

機種名	型式	希望小売価格(税込)	発売時期
スピーカースタンド	TB-PED6071(別売)	オープン価格	11月15日

■主な仕様

		60V型プラズマ	
型式		P60-XR01	
表示サイズ (幅×高さ、対角)		133.6×75.2cm、153.0cm	
パネル・表示方式		フルHD ALISパネル (e-ALIS方式)	
表示画素数 (水平×垂直)		1,920×1,080	
動画解像度		900本以上	
輝度 (白ピーク、パネル本体)		1,000cd/m <sup>2</sup>	
コントラスト (暗所、パネル単体)		10,000 : 1	
受信チャンネル		地上デジタル 000-999 (CATVパススルー対応) BS デジタル 000-999 110度CS デジタル 000-999 (右旋円偏波) 地上アナログ VHF : 1-12ch UHF : 13-62ch CATV : C13-C63	
チューナー		地上・BS・110度CS デジタル×2、地上アナログ×2	
HDDレコーダー機能 (HDD容量他)		○ (250GB、XCodeHD) 「iVDR-S Built-in」	
iVポケット機能		○	
実用最大音声出力 (JEITA)		13.5W + 13.5W	
スピーカー		サイドスピーカー (着脱式) (10cmφ×2、2.5cmφ) ×2	
サラウンド他	TruSurround 5.1ch (*1)	○	
	WOW (*1)	SRS-3D (*1)	○
		TruBass (*1)	○
		FOCUS (*1)	○
BBE (*1)	○		
入出力端子	HDMI入力端子 (1080P対応)	3	
	D4入力端子	2	
	S2ビデオ入力端子	2	
	ビデオ入力端子	3	
	モニター出力端子	1	
	サブウーハー出力端子	1	
	i.LINK端子 (DV入力対応)	1	
	光デジタル音声出力端子	1	
	電話回線接続端子	1	
	IRコントローラー端子	1	
	ヘッドホン出力端子	1	
LAN端子	1		
SD/MMCメモリーカードスロット		1	
アンテナ入力端子		VHF/UHF入力×1 (アナログ・地上デジタル共通入力) BS/CS-IF入力×1	
消費電力 (待機時)		609W (0.5W)	
年間消費電力量 (スタンバイ時)		577 kWh/年	
本体寸法 (*2) (幅×高さ×奥行)		177.3×95.2×12.8 cm (下部最大奥行16.0cm)	
本体+スタンド寸法 (幅×高さ×奥行)		177.3×101.8×48.3cm	
本体質量 (スタンド込)		81.4kg (97.9kg)	
スタンド		別売	

\*1 : TruSurround 5.1、WOW、SRS-3D、TruBass、FOCUSはSRS Labs, Incの商標です。BBEはBBE Sound, Incの商標です。

\*2 : 設置に際しては「スタンド」が必要です。

仕様は、予告無く変更することがあります。

以上

---

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。

---